



星新一著
新潮社 913 ほ



村上春樹著
新潮社 B913 む



村上春樹著
講談社 B913 む

読書が習慣になったきっかけは、中学生の時の友達だったと思います。休み時間に本を読んでいる姿が、凛としてカッコよく憧れました。その友達の影響もあって、最初にはまったのが、星新一のショートショートです。「エヌ氏の遊園地」など片端から読んでいきました。アイデアとユーモアに満ちた短編集でちょっと不思議な世界ですが、引き込まれます。気軽に読書を始めてみたい人におすすめです。

今では SF からミステリー、純文学などジャンルを問わずいろいろな本を読みますが、高校生から大学生にかけてはまり、今でも最新刊を必ずチェックするのは村上春樹です。「ノルウェイの森」や「海辺のカフカ」が有名で「羊をめぐる冒険」は何度も読み返しています。文章は平易でどんどん読み進められますが、ストーリーは少し難解で、どんな風に理解すればいいのかわからない場面に遭遇します。比喩表現のひとつである隠喩（暗喩）が用いられていて、想像力を掻き立てる文章が特徴です。「羊をめぐる冒険」に「彼は一人息子の写真でも見せるようににっこりと微笑みながら」という表現があります。表情をイメージさせるための比喩で、その比喩によって、表情の裏にある心理を描写していますが、あなたならこの文章からどんな心理をイメージしますか。ぜひ作品をチェックし、前後の文章から想像してみてください。

本の世界を通して、自分の知らない、経験したことのない出来事にふれる経験をしてみましょう。また、本を読んでいる時間は自由に想像（妄想!?) をふくらませてよい、自分だけの時間だと思います。ぜひ読書を楽しんでください。

（担当：  ）